



### 公共交通再編—オリナスで出発式

公共交通空白地の解消と利便性の向上を図るため、市役所新庁舎・市民交流施設オリナスへの移転に合わせ市内の公共交通を再編。デマンド型交通の乗合タクシー・むすぶんと市街地を循環するコミュニティバス・めぐリンの運行を開始し、コミュニティバスと路線バスに市内均一料金制度を導入しました。運行開始日の出発式で、片山市長らがテープカットして門出を祝いました。〔4月1日、市役所新庁舎・市民交流施設オリナス〕



### 津万自治協がイチゴの特産品開発

津万地区自治協議会の皆さんがイチゴを使った特産加工品を完成させ、期間限定で販売しました。地域の活性化と農産物の魅力発信を目的に、イチゴのサンドやヨーグルトムース、パンケーキなど5品を開発。いずれの商品も地元産のイチゴがふんだんに使われていることが特徴で、今後は同協議会の活動拠点「みんなの家あじさい」などでの販売を予定しています。〔4月1日～4日、TUMAこいカフェ（坂本）〕



### 半世紀の歴史に幕—市民会館で閉館イベント

市役所新庁舎・市民交流施設オリナスへの移転に伴い、市民会館の貸館業務が終わるのを前に、公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団や市民企画委員会「0」が閉館事業を企画。来館者がイベントを通して、市民会館に最後の別れを告げました。

3月28日開催の「ファミリーフェスタ」では、工作や演奏体験などの各種ブースが登場。ステージイベントや子ども向け映画上映もあり、親子連れでにぎわいました。

最終日の3月31日には、「三遊亭円楽独演会」を開催。来館者は笑点メンバーのネタを交えた円楽さんの巧みな話術に引き込まれ、会場は大きな笑いに包まれました。

昭和41年に建設された市民会館は、文化活動の拠点として親しまれ、半世紀余りの歴史に幕を下ろしました。〔いずれも市民会館〕



### みらいで合同イベント

春休みに子どもたちにさまざまな体験をしてもらおうと、「こどもプラザフェスタ」や「春の図書館まつり」などを同時開催。親子連れらがワークショップや運動遊びを楽しみました。〔3月27日、茜が丘複合施設みらいえ〕



### 教職員の集い

子どもたちの「生きる力」を育む教育を推進するため、市内の幼稚園や小中学校に勤務する教職員が出席する「教職員の集い」を開催。笹倉教育長の訓示に続き、市の教育施策について説明を行いました。〔4月5日、市民会館〕



### 地域防災へ決意新たに

市消防団の幹部団員らが、消防大会で地域防災への決意を新たにしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の車両行進や一斉放水などを取り止め、最小限の内容のみに縮小して開催しました。〔4月4日、市民会館〕



### ワクチンの集団接種へ模擬訓練

新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まるのを前に、シミュレーションを実施。西脇市多可郡医師会の医師や看護師、薬剤師会会員、市職員のほか、市民役の市老人クラブ連合会会員らが、本番を想定した配置で、本人確認や接種、経過観察までの一連の手順を確認しました。〔4月8日、天神池スポーツセンター〕



### 医療従事者向けワクチン接種開始

医療従事者などを対象にした新型コロナウイルスワクチンの優先接種が、市内で始まりました。西脇病院では、大山記念病院などの連携型接種施設とともに、病院や発熱トリアージ外来で診療に当たる医師や看護師らから接種を開始。陽性患者を搬送する西脇消防署の署員などへの接種も順次進めています。〔3月29日、西脇病院〕